

# 図書館報 ぶらっつ★篠崎



## 038号

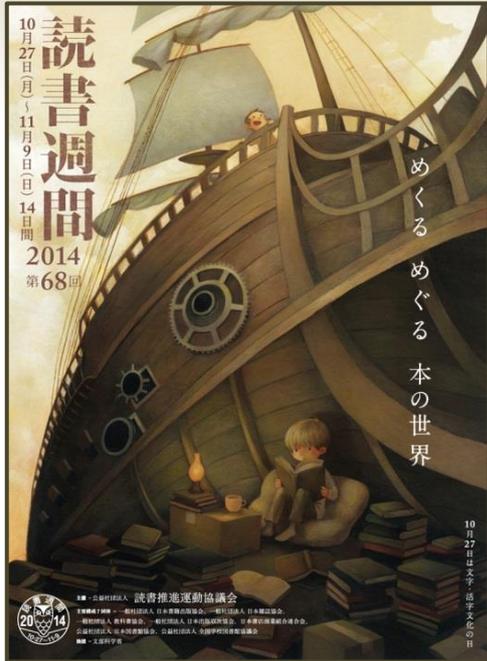
P2~P4「

**特集**  
学生の時に  
ハマった!

図書館スタッフ全員参加の企画です。  
オススメ本も18冊と、もりだくさん！

P1 **江戸川まいにんぐ**  
「詩人のわかれ」京成電鉄江戸川駅

**スタッフのセレクション!**  
P4 「おさるのトーマス、刑法を知る」  
仲道祐樹著



## 本を手にとせよ、世界をめぐる

毎年恒例の読書週間の季節がやってまいりました。  
今年の標語は「めくるめぐる本の世界」。期間は、10月27日(月)から11月9日(日)までです。篠崎図書館内では今年も、読書週間にちなんだ企画展示を実施します。その企画内容とは……。

### 特別企画「つながる読書」 10月28日(火)~11月30日(日)

ミニ特集コーナーに、スタッフがおすすめる本がズラッと並んでおります。もし、読んでみたいと思った本がございましたら、その本をカウンターまでお持ちください。すると、その本に関連する本、もしくは「それを読んだら、次はこれを読んでほしい」というような本と一緒に貸し出いたします。ぜひ、「つながる読書」体験をしてみてください！

### 江戸川まいにんぐ 発掘 第38回 「詩人のわかれ」京成電鉄江戸川駅

京成電鉄の江戸川駅ができたのは、江戸川橋梁完成後の大正3年(1914年)8月30日のこと。その日は、同時に市川新田(現市川真間駅)まで開通しており、大正5年12月には京成電鉄の線路は船橋まで達していました。

その船橋駅が出来る5ヶ月前の大正5年7月、詩人の北原白秋は市川真間から小岩村大字三谷(現在の江戸川区北小岩8丁目)に引っ越しました。(その当時、江戸川の土手で周囲の景色を見た際、感動したことを、白秋はエッセイに書いています。)

さて、白秋引っ越しの翌年、大正6年に谷崎潤一郎は「詩人のわかれ」という短編を発表するのですが、このタイトルの“詩人”というのは、もちろん白秋のこと。話は、久しぶりに会った谷崎、吉井勇、長田秀雄が白秋を訪ねるところから始まります。4人揃って、とある店に行き歓談した後、夜9時過ぎということで、とても寒かったことから、一杯やりにいこうという話になったのです。

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

そこで谷崎たちは何度も白秋を誘うのですが、「行ってもいいがまた今度にしよう。」と彼は断り、妻の待つ家に帰ってしまうのでした。

この作品の中で、白秋が最後に3人と握手を交わし、立ち去った場所が、江戸川駅のプラットフォームだったのです。そこから江戸川沿いに北上し、白秋の住む北小岩の家までは、おそらく30分弱ほど歩いたことでしょう。

早くから孤独と清貧とになれてしまい、騒がず焦らず、超然と自己の道を守っていた白秋。その彼の立ち去って行く後ろ姿を見送りながら、歌人の吉井勇は目に涙を浮かべつつ、こう呟くのでした。

「とうとう帰って行きやあがった。——」(略)  
「ほんとうになあ、何処となく可愛い男だよ。彼奴あえれえ所がある。」

#### 参考資料

「谷崎潤一郎全集 第4巻」	谷崎潤一郎著	中央公論社	918.6タ4	中央ほか所蔵
「京成の駅今昔・昭和の面影」	石本祐吉著	JTBパブリッシング	686イ	篠崎ほか所蔵
「江戸川区史 第3巻」	江戸川区区史編纂室/編	江戸川区	K1-21-3	篠崎ほか所蔵

## ライブラシネマ篠崎

### 「サンセット大通り」 (1950年、アメリカ)

監督：ピリー・ウィルダ  
出演：グロリア・スワンソン  
ウィリアム・ホールデン  
エリッヒ・フォン・シュトロハイムほか

10月18日(土)  
14時 開演 (13時30分 開場)

場所：篠崎文化プラザ 講義室  
定員：70名(当日受付、先着順)  
どなたでも参加できます。  
入場料：無料

サイレント映画時代の superstar、ノーマ・デズモンドと、彼女の狂気から逃れようとしながらも囚われの身となった脚本家。度肝を抜くオープニング・シーンから悲劇のラスト・シーンまで、ハリウッドの影と絶望を赤裸々に描く。

大学生時代



『陽気なギャングが地球を回す』

伊坂 幸太郎 著  
祥伝社文庫  
BFイ  
篠崎ほか所蔵

ゴキゲンな天才四人組は百発百中の銀行強盗。ところが逃走中に、別の現金輸送車襲撃犯に「売上」を横取りされてしまう。

これは大学時代に友人の勧めで読んでみて、すっぱりハマってしまった本です。小説の中で語られる、人生の役に立つような気がする(でも実際には役に立たない)話が面白かったなあという印象が強く残っています。この本を境に読むジャンルが広がりました。

大学生時代



『冷血』

カポーティ著  
新潮文庫  
B933カ  
篠崎ほか所蔵

1959年実際に米国であった惨殺事件の全貌と犯人の絞首刑までを徹底取材。作者自ら「ノンフィクション・ノベル」と名付けた。

大学3年の春休み、サークルの人間関係のゴタゴタから離れ父の田舎へ。従兄の本棚から偶然手にし、その「事実」に惹きこまれ夢中で読みました。返せよって言われていたのに借りたまま30数年……。今は息子の本棚にあります。

大学生時代



『FBI心理分析官』

ロバート・K. レスラー著  
ハヤカワ文庫  
NF  
B936レ  
篠崎所蔵

著者自らが捜査にたずさわったアメリカの猟奇殺人事件の細部と、その心理分析的犯人割り出しのプロセスを克明に再現する。

当時、ミリオンセラーとなった本なので読んだ方も多はず。「プロファイリング」という言葉を知り、その後にごまんと出てくる“異常犯罪もの”作品をあさるきっかけとなりました。不遇な成長過程を送った犯人に同情できるようになって怖いです。(笑)

大学生時代



『理科系の作文技術』

木下 是雄著  
中央公論新社  
S816キ  
葛西ほか所蔵

段落の意味、文章の構造、展開の順番など、書くために必要なことが書かれています。仕事で文章を書くときにも参考になります。

大学4年間で260単位を取得しました。このうち3分の1はレポートで成績が決まりました。大量のレポートが課されたときに読みました。読んでからレポートを作成する時間が短縮され、成績も良くなりました。書くときに必要なことが簡潔に書かれています。

スタッフのセレクション

「おさるのトーマス、刑法を知る」

仲道 祐樹著 山中 正大絵 太郎次郎社エディタス  
J326ナ 篠崎ほか所蔵

サル山共和国という、サルとウサギ、ゴリラが住んでいる国が舞台になっています。ここでいろいろな事件が起き、法律を使ってみんなが納得する答えを出そうとします。

ある日、ゴリラのギュンターが慌てた様子で、「兄貴が料理雑誌1ページを携帯電話のカメラで写真を撮って捕まったらいい。うちの兄貴がやったのは、雑誌の一部を写真に撮っただけで、その雑誌は本屋に残っている。捕まったのはおかしいと思うんだ。」とサルのトーマスとウサギのヤスヒコに言いました。そこで、サルのリサが持っている六法全書を見ながら議論することにしました。万引きを処罰する条文は、刑法235条の窃盗罪にありましたが、「財物とはどんな意味なんだろうか」等々、話し合えば話し合うほど分からなくなってしまうのでした。

議論が行き詰まってしまったので、トーマスの母親で弁護

篠崎図書館で働くスタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

士であるジュリアさんの事務所にみんなで行って話を聞くことにしました。ここで犯罪と刑罰はあらかじめ法律で定めおかなければならないという罪刑法定主義ということを知ります。そして、道徳、倫理、社会規範と法律の違いを教わりました。そのことから、ギュンターのお兄さんの件について、みんなの納得する答えを見出したのでした。

他の場面では共同正犯や正当防衛などについてもテーマになっています。法律の中でも刑法は特に大学で授業を履修するか、実社会で経験しなければなりません。いきなり刑法の難しい本を手取るよりは、実際にありそうな例を踏まえながら書かれているものを読んでみると良いかもしれません。刑法の条文が所々に出てきますが小学校高学年から大人まで楽しめる本です。

編集後記

そろそろ腹筋割る割る詐欺で捕まりそうなので、学生時代を思い出してストイックに体を絞ろうと思います。(風雲ふわふわ丸) / 今度、高校時代の担任の先生に会います。とても楽しみです。(かき氷職人) / 私にとって学生時代は、Long Long Agoなので多くのことを忘れましたが、読んで感動した本は忘れません。(M.弱尊)

編集・発行: 江戸川区立篠崎図書館

住所: 〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19

篠崎文化プラザ内

TEL: 03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ

<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>